

医学コースプログラム8 医学合同セミナー

2023.02.07

1月28日午後に行われました、県の「医学合同セミナー」に参加しました。コロナの感染予防のため昨年同様Zoomを利用したオンライン開催となりました。

高校1, 2年生対象の講座のプログラムですが、行事の関係で3年次生10名が参加しました。

(全体の参加者は100名程度)

内容は

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. ワークショップ | 13:30~15:20 |
| 筑波大学 前野哲博先生 | |
| 「医学部の授業体験をしよう」 | |
| 2. 講演 | 15:30~16:00 |
| 筑波大学 瀬尾恵美子先生 | |
| 「医学部で学ぶ6年間」 | |
| 3. 地域枠入試制度についての説明 | 16:00~16:30 |
| 茨城県医療人材課 | |

オンライン開催のため参加生徒達の研修風景の写真はありませんが参加者の感想文を載せたいと思います。

<感想文>

①

他校の方とはお話する機会はないので、初めての人と関わることができて良かったです。でも、初対面だったのでみんなカチカチで話がとぎれとぎれになってしまった部分があったなと思いました。また、その他の授業では筑波大学の特徴などまだきくことができる機会がなかったので受験の地域枠など知ることができて良かったです。

②

医学部の授業を体験してみる講義では、症状をもとに病気を特定していく過程を知る事ができて、難しかったけど楽しかったです。また、今まで知らなかった筑波大のことや地域枠について知ることができて良かったです。

③

水戸一高の人や土浦一高の人など、初対面の人たちと少人数で症状から病気を考えるのは楽しかったです。始まる前は、自分以外全員年上だったので緊張しましたが、水戸一高の方が積極的に話してくれたので、自分の意見を言いやすかったので、良かったです。また、他の学校の人たちと一緒にやりたいです。次回は対面がいいです。

④

病気のことにあまり詳しくなくてグループワークでの問題は少し難しかった。しかし、講義では図やイラストを用いて説明していたり簡単な言葉に置き換えていたりされていたので分かりやすく、とても聞きやすかった。病気の検査をするために病名の見当をつけるとき、割合・確率が合わせて100パーセントになるまで沢山候補を出すと良いとわかった。講義を受けて、感染症は数日、癌は数年、可逆性のものは緊急を要さない、など多くのものを学べた。他校の高校生はしっかり自分の意見を述べている人が多くてすごかった。

⑤

ワークショップでは、実際に総合診療科のお医者さんや医学部の学生さんがやっていることの一部を体験できてとても興味がわきました。グループワークは内容が少し難しく、オンラインだったこともあり、たどたどしくなってしまったので次回やるときがあればもう少し積極的に話せるといいなと思います。

⑥

初めて合う人達と話し合いをするのは緊張したけれど、みんなで意見を出し合って考えるのが楽しかった。また、医学部の6年間についての説明は、知らないこともたくさんあったのでとてもためになりました。

⑦

医師は毎日、患者さんの容態を聞いて、そこから病気を想像して処置を始めていくことを知った。実際にやってみてとても難しかった。しかし、他校の生徒と協力して考えるのは、楽しくまたいい経験になった。これからも勉学に励んでいきたいと思った。

⑧

他校の医学コースに参加している生徒と交流しながら、診断する疑似体験をできた。また、医学部について、筑波医について、地域枠についての講演を聞いて、医学部に対する知識が増えた。

⑨

今回の医学コースでは、他校の生徒と関わるのがあったので、とても刺激になりました。また、医師が実際にやっていることをできたので、面白かったし、いい経験になりました。筑波大学の紹介では、筑波大が誇れることや、他の大学にはないことがあるのを知ったので、もっと筑波大のことを調べたくなりました。自分のやりたいことを明確にしていきたいと思いました。

⑩

医学部の大学の授業を受ける機会があまりないので、こんな授業なんだということが体験できてとても良い機会になりました。また、その後のグループワークでは色々な人の意見が聞けてとても楽しかったです。また参加したいと思いました。ありがとうございました。